

物流用ドローンポートシステムの統合検証概要

別紙

物流用ドローンポートシステムの統合検証のため、統合した同システムを使用し、物流事業者による郵便局～道の駅の荷物等輸送を実施。

○実施日時:11月13日(月)午前10時00分～12時00分(気象状況によっては中止)

○実施場所:長野県伊那市長谷地区
(美和郵便局～道の駅南アルプスむら長谷)

○実施主体:国土交通省、ブルーイノベーション(株)、東京大学

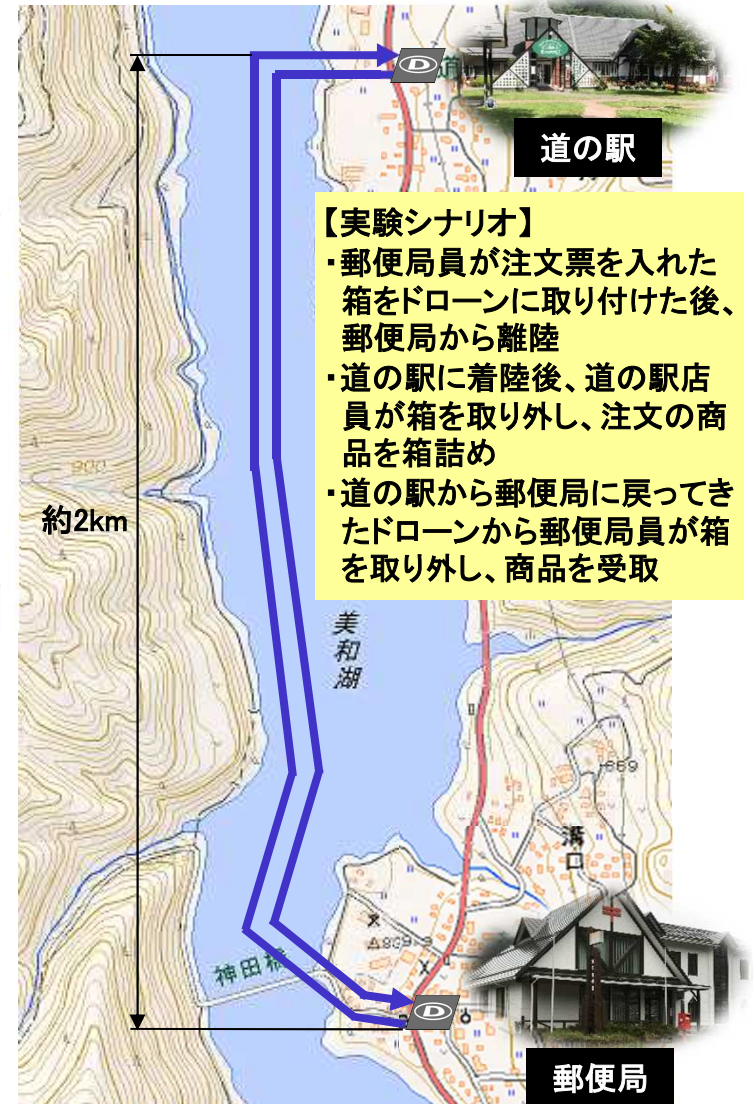
○実施協力:伊那市、日本郵便(株)、(株)自律制御システム研究所、(株)NTTドコモ

○使用機体:ACSL-PF1

機体寸法:全長 1,173mm(プロペラ範囲)
高さ 483mm
機体重量:6.7kg(本体4.0kg)
積載重量:3kg
防雨性:IPX3
最高速度:約70km/時



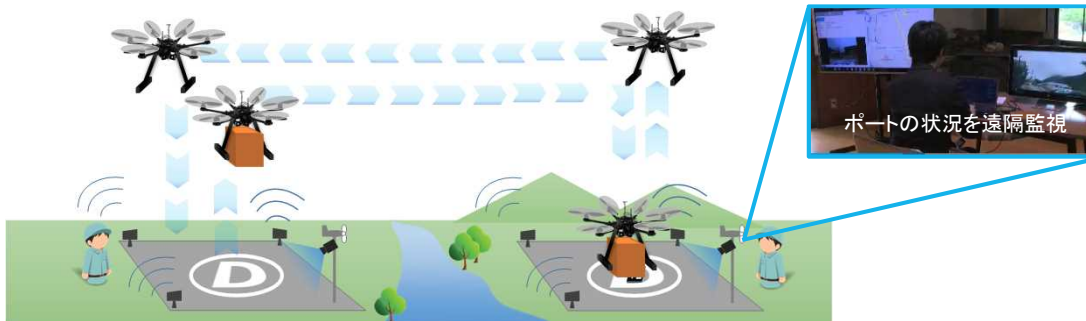
飛行ルート:郵便局～道の駅



検証項目

○物流用ドローンポートシステムの統合検証

統合した同システムを使用し、物流事業者による荷物等の輸送実験を行い、同システムが正常に機能するかどうかを確認。



※今回の実証実験では、目視外飛行時の安全を確保するため、補助者を配置して実施します。

物流用ドローンポートシステムについて



ドローンの安全な離着陸をサポート

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>1. 高精度なドローンの自動離着陸支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローンポートに設置した (a) Wi-Fi電波発生装置、(b) マーカーにより、水平誤差50cm以下でドローンの離着陸を行う。 | <p>2. ドローンポート周囲のリアルタイム風速・風向予測システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローンポートでのリアルタイムの風速・風向の観測値を、予め算出しておいた離着陸可能上限値と照合することにより、離着陸の可否を判断。 | <p>3. ドローンポートへの第三者侵入検知システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 第三者の侵入をリアルタイムで検知して、離着陸可否を判断。 | <p>4. 運用支援クラウドシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ドローンポートの情報を統合し、各ポートや、ポートへの離着陸動作に異常がないこと等をクラウド上で確認。 |
|--|--|--|---|

※利用環境によって構成は変わります。